

# 1. 外部評価報告概要表

## 【評価実施概要】

事業所番号	2970200388
法人名	有限会社 サン企画コーポレーション
事業所名	グループホーム ゆかりの里苑
所在地	大和高田市松塚850-3 (電話)0745-52-2942
評価機関名	特定非営利活動法人 なら高齢者・障害者権利擁護ネットワーク
所在地	奈良市内侍原町8番地ソメカワビル202号
訪問調査日	2007年9月21日

## 【情報提供票より】H19年9月5日 事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成 15 年 4 月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	13 人
職員数	7 人	常勤 6 人, 非常勤 1 人, 常勤換算 6, 4	

### (2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り		
	2 階建て	1 階 ~	2 階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	6万 円	その他の経費(月額)	実費
敷 金	有( 円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 30万円 無	有りの場合 償却の有無	○有/無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり	1,166 円	

### (4) 利用者の概要(9月5日)

利用者人数	11 名	男性 2 名	女性 9 名
要介護1	5 名	要介護2	名
要介護3	2 名	要介護4	3 名
要介護5	1 名	要支援2	名
年齢	平均 84.4 歳	最低 65 歳	最高 94 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	ハートランドしぎさん、土庫病院、日の出診療所
---------	------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは、駅から5分ほど歩いた旧家の並ぶ落ち着いた雰囲気の中にある。二階建の広々とした建物で一階と二階の2ユニットがあり、二人部屋も用意されている。また近隣のホームとの交流も大事にしており、日々サービスの向上に努めている。ちょっとした変化も見逃す事がないように、一人ひとりを大切に介護とともに、地域と連携しながらの日々をゆったりと生活している。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の評価で、家族への行事参加のよびかけの提案があり、話し合っって運動会・クリスマス会のご案内・呼びかけをした。今年も引き続きする予定である。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>管理者と職員で話し合っって作成した。評価を日々のサービス向上の資料として活用している。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>今年中に第1回目を開く予定で、どのようにすすめていくかを管理者・職員で話し合っっている。参加メンバーから多くの率直な意見をいただき、各方面の人々との連携を継続するための良い機会になるように検討中である。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>契約書にも苦情窓口が明記されているが、面会時に行事の写真とともに、日ごろの生活ぶりなどお伝えしながら気軽に意見を言ってもらえるように配慮し、また一緒に話し合っっている。家族の意見をまとめるような家族会は今現在はない。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>町内会にも加入し、子ども会の祭にも参加している。運動会は地域の保育園と一緒にい利用者も楽しみにしている。また地域の介護相談にも気軽に応じている。</p>

## 2. 外部評価報告書

### 1. 外部評価報告概要表

(   部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	住み慣れたこの地域で最後まで人として尊厳を大切に暮らせることをめざしているが、地域との関係を謳った具体的なものではない。	○	地域とのふれあいを日々大切にしておられるので、それを理念として表現されては如何でしょうか。地域の受け入れと理解が課題であるので、作ったままでなく地域や利用者のニーズの変化によって現状にあった理念にして見直されることを期待します。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	事業所独自の理念が事務所に掲示してある。日々のサービスで、またミーティングなどで理念を具体的に話し合うように心がけ、また確認し合っている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会や子ども会の祭などにも参加している。大和高田市のボランティアの方々に協力していただくなど、地域との交流が盛んである。また、近隣の方の介護相談にも気軽に応じられている。		
おう					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	会議の時昨年の改善点を向上していくための資料として活用している。今回も職員と話し合って自己評価を作成している。また、評価結果を伝え向上するように心がけている。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議はまだ開いていない。ただし、今年中に第一回目が予定されている。	○	第一回目をどのように開くかを検討中である。会議には、幅広い経験・知識のある方に出席していただき、率直な意見を引き出しサービスの向上に活かされることを期待いたします。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	管理者の方は永年ボランティア活動にたずさわ行政の担当者とも積極的に話す機会を持たれている。受身でなくこちらからも発信するようにしている。		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	心身の変化、急変の時など必ず家族への報告を行っている。また、訪問時には写真などを見ていただき、暮らしぶりなどをお伝えするようにしている。ホーム便りは一回発行したが、現在は発行していないとのことである。	○	出来れば手紙や写真などで現在の状況をお伝えして、家族からの意見など聞くような取組みが望まれます。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情窓口を契約書に明示している。訪問された家族の方には出来る限り話を聞くようにしている。施設の行事のときなど参加を呼びかけ、訪問の機会づくりをしている。家族が主体の家族会はまだないとのことである。	○	管理者はクリスマス会などで家族の方が集まる場を利用して、ご意見等をお伺いすることを検討されている。ご家族同士で話し合っただき、代表の方から率直な意見を伝えていただくなど、堅苦しくない場面作りを期待いたします。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	管理者は職員間の和、定着率をあげるように努めている。新しい職員が入職したときには、利用者の生活歴などから、ひとつひとつ徹底して覚えてもらうようにし、早くなじむように全員で協力している。		
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修の募集はファイルに綴じ全員が目を通せるようにしている。年一回外部の研修が行えるように計画し研修後はミーティングで報告している。また参加するためのバックアップも協力して参加しやすいようにいる。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者は永年福祉活動をしている関係で、交流の幅も広く、横のつながりを大切にし、近隣のグループホームとの交流も盛んである。情報交換だけでなく相互の訪問もしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	安心して入っていただけるように体験利用も行っている。また、入所の時は職員とも相談しながら、家族の協力もいただきながら進めている。時には連携している医療機関に相談するなどの協力体制もある。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	生活歴を活かし、話をじっくり聞いている。昔懐かしい歌を教えていただきながら、一緒に歌ったり和裁や編み物をなどする時間を大切にしている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	誕生日には食事の希望を聞いたり、また、家族の方からも聞くなどして好みの把握に努めている。日々の生活の中でも利用者の希望を尊重している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	毎日の生活の中でちょっとした変化も見逃さず記録し、その都度職員でミーティングを開き、話し合いをしている。また訪問時にご家族に記録等に目を通していただき、話をするようにしている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	通常6か月に1回見直しているが、変化があればその都度話し合い見直しをおこなっている。少しの変化も見逃さず記録し、話し合いの上で見直しを行っている。見直しに当たっては家族の意見や了解を得ている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	連携している事業所でのデイサービスに出かけたり、通院が必要な時は付き添いなどにも対応している。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月二回のかかりつけ医の往診がある。また、24時間対応してもらえる医療体制も構築されている。通院が必要な場合は家族とも相談して支援している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した時は医療機関と連携して支援している。家族や医療関係者、職員とも方針を共有するようにしているが、特養が受け入れ可能になると退所される方が多く書類による説明や契約はない。	○	契約書等にターミナルケアについての双方の取り決めや方針を確認し記載することが望まれます。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	尊厳を大切にすることを日々の生活の中で職員に伝えている。居室への入室時の声かけなど、ちょっとしたことでも常々心がけている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ひとりひとりのリズムを大切にし体調や希望にあわせて外出・入浴などをしていただき、ゆったりとして生活が送られるようにしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	じゃがいもの皮むきなど食事の下準備を手伝っていただいたり、ご本人の能力に応じていただいている。食事中はゆったりと会話を楽しみながらされている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週二回のスケジュールであるが汗をかいた時やご希望に沿って入浴できる。温泉の暖簾を吊ったり、入浴中は好きな歌手の曲をかけて少しでも気持ちよく入っていただけるようつとめている。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	個人の今までの生活歴を生かして、和裁や編み物など楽しめるよう支援している。今までの習慣を生かして洗濯物を干したり、取り入れ、たたむなど職員と一緒にして生活の中に役割を見出している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	本人の希望に沿って散歩に行ったり、近くのスーパーに買い物に行くなどしている。また、運動会や花見、クリスマスのイルミネーションなど見物に出かけている。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は玄関の鍵はかけていない。玄関には大きな鈴があり、出入りがわかる。ただ、二階から一階への階段が急なため、二階の入り口には鍵をかけている。二階の利用者が一階へ降りたい時は職員が付き添うなどしている。	○	出来れば、二階の鍵も外すように管理者・職員で話し合い、鍵をかけない取組みを望みます。
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	緊急時の連絡先は見やすいところに掲示している。また毎年、消防署の協力を得て避難訓練をしている。地域の消火訓練にも参加している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一日の食事量、水分量を毎日分かり易くしている。とろみ食の人にも対応している。また便秘予防のため毎日手作りのヨーグルトをメニューに取り入れている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間、食堂は広くゆったりとしている。テーブル席のほかテレビを見るソファも置かれている。料理の良い香りや調理の音も聞こえ、家庭的な雰囲気である。浴室、トイレには手すりもあり利用者の機能低下にも配慮している。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地良く過ごせるような工夫をしている。	フローリングであるが、希望によって畳を敷くことも出来る。居室には本人の使い慣れた箆笥や椅子、ドレッサーなどが持ち込まれ居心地良く過ごせるようになっている。		